

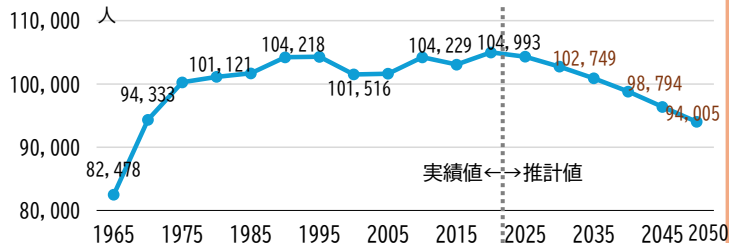
池田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン改定案＜概要＞

※池田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンとは：

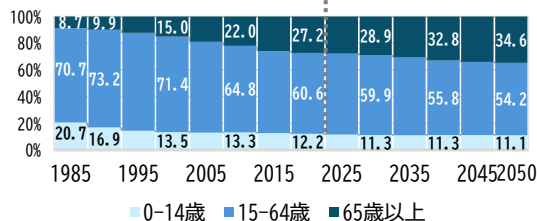
- ・ 地方創生を実行するにあたり、本市における人口の現状分析を行い、今後の目指すべき人口の将来展望を示すもの
- ・ 現行ビジョンは、令和2年2月改定版。

総人口の推移と将来推計

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）の推計では今後減少期に入り、2050年には約94,000人まで減少すると見込まれる。

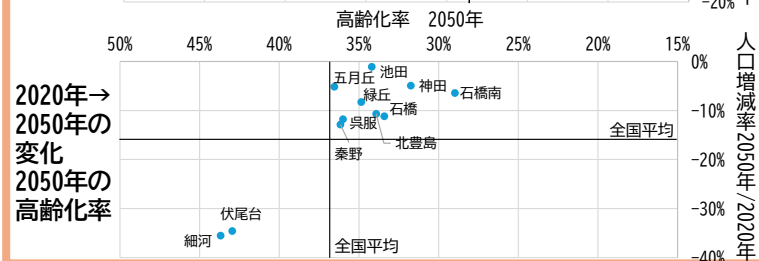
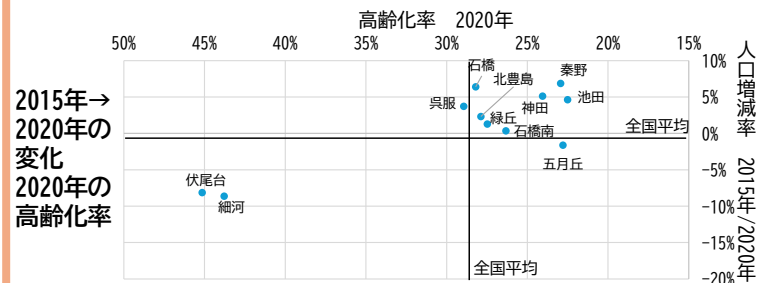


2050年には
生産年齢人口は
54.2%まで減少、
高齢化率は34.6%
に増加。



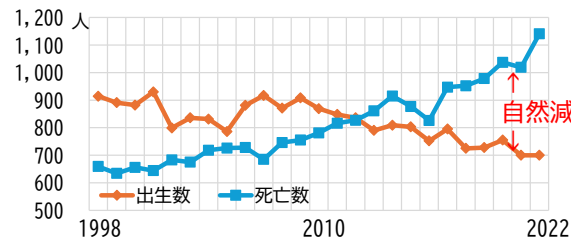
地域別人口の変化と高齢化率の将来推計

2050年には、どの地域も2020年よりも人口が減少する見込み。

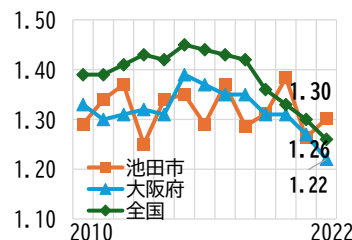


自然動態 ※出生と死亡に伴う人口の動き

2013年以降、自然減少が続く拡大傾向にある。

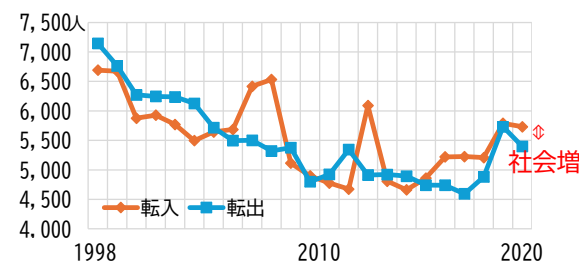


合計特殊出生率
は1.3前後に留まり
人口置換水準(2.07)
に大きな差がある。



社会動態 ※転入と転出に伴う人口の動き

2016年以降社会増加が続いている。



2017→2022年（累積上位）近隣市の転出入が多い。

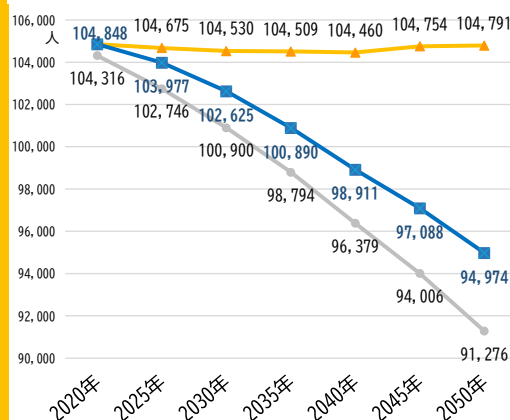
	転出	転入	転入超過	転出超過
1	大阪市 3,429	大阪市 3,106	豊中市 283	大阪市 323
2	豊中市 2,821	豊中市 3,104	広島市 118	京都市 85
3	箕面市 1,651	箕面市 1,582	西宮市 113	川西市 75
4	川西市 1,414	川西市 1,339	吹田市 101	箕面市 69

めざす方向

出生率が人口置換水準(2.07)まで引き上げられ、社会移動が均衡した場合、人口減少は抑制され、定常化が見込める。

本市としては、若い人の結婚・妊娠などの希望をかなえ出生率の上昇につながる取組を推進するとともに、まちの魅力を高め、社会増加を今後も持続させていくことにより、中長期的に10万人に近い人口の維持をめざす。

池田市将来人口推計比較



- （1）社人研推計2023年
- （2）国の長期ビジョン準拠（現行ビジョンに掲載）
（2020年基準、出生率2030年1.8、2040年2.07）
- （3）人口戦略会議準拠
（出生率2060年2.07 + 移動率2040年以降均衡）

人口構成の比較（2050年推計時点）

